

幼稚園教育において育みたい資質・能力を踏まえた教育課程に基づく指導計画作成や指導実践について

大玉村立玉井幼稚園 副園長 後藤弥和子

## 1 研究の趣旨

幼児期にふさわしい生活が展開されるためには、各園で教育課程に基づき、調和のとれた組織的・発展的な指導計画を作成し、幼児の活動に沿った柔軟な指導を行わなければならないとされている。また、幼稚園の活動を単体で見のではなく、小学校、中学校までの学びの連続性をふまえた計画的・組織的な取組も重要視されている。

本園でも「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる教育課程を編成し、日々実践を重ねている。そこで、本村の教育の特色である幼小中一貫的教育構想の「おおたま学園」での取組も合わせ、以下の見通しを設定し、研究を進めることとした。

幼児の実態を把握し、コロナ禍であっても心をゆさぶる体験ができるよう、組織的・発展的な指導計画を作成し、幼児の活動に沿った柔軟な指導を行っていけば、幼児の思いをつなぐ保育となり、よりよい成長を促していけるであろう。

## 2 研究の概要

### (1) 長期的指導計画の評価・改善

#### ① 教育課程の編成の方針の明確化

- 幼児の実態や本村の幼稚園教育指導の重点を踏まえ、本園の幼児の育みたい姿を明確にする。
- 「幼児期の終わりにまで育てほしい姿」の中の「道徳性・規範意識の芽生え」「思考力の芽生え」「言葉での伝え合い」を重点事項とする。

#### ② 多面的・多角的な評価の実施

- 週案や個人記録の反省、評価とともに「大玉村幼稚園教育保護者アンケート」の結果や「おおたま学園」のコミュニティスクール委員による学校評価を受けて、改善を行う。

#### ③ 「おおたま学園」の特色を生かした幼小交流の推進

- 年間を通して幼小交流を計画的に実施し、活動を幼小で振り返り改善を行う。

### (2) 短期的指導計画の評価・改善

#### ① ねらいや内容の設定

- 多様な視点から幼児を理解し、発達に合ったねらいや内容を設定する。ねらいを達成させるために幼児に経験させたい指導内容になっていたか評価し、改善を図る。

#### ② 環境の構成

- 幼児の姿を捉えながら、柔軟な視点でねらいを念頭に置き、臨機応変に、魅力ある環境構成を再構築する。

#### ③ 成長や発達につながる具体的な援助

- 幼児の一人一人の発達の特性を理解し、適切な指導を行う。全職員でカンファレンスによる多面的な視点で評価し改善を図る。

事例1 教師が幼児の実態を把握し、発達に合った環境構成をしていったことで、自信をもって遊べるようになっていった事例

事例2 教師が指導計画を基に、目の前の幼児の発達に照らし合わせ、教材を選定したことでじっくり遊びを楽しむことができた事例

事例3 コロナ禍において既存のやり方にとらわれず、発想を変えて直接的交流や間接的交流を組み合わせ、幼小交流を行った事例

## 3 成果と今後の課題

### (1) 研究の成果

- 組織的に指導計画を編成・評価・改善を行ったことで幼児の発達の見通しをもち、保育を進めることができた。
- 一人一人の幼児を理解してねらいをもち、環境構成を再構築するなど柔軟に指導を行うことで幼児の思いをつなぐ保育につながり、よりよい成長を促すことに効果的であった。

### (2) 今後の課題

- 今後も組織的に育みたい姿を明確にし、長期的計画に位置付けをしていきたい。
- 更に保育の質を高め、幼児の主体的な活動を引き出せるよう、全職員で保育を振り返り指導計画の見直しを図りたい。